

海自幹部ら165人違憲の靖国参拝

昨年5月

制服姿毎年実施か

海上自衛隊の幹部ら165人が制服姿で靖国神社（東京都千代田区）を集団参拝してしまったことが16日、本紙の調べで分かりました。靖国神社を通じては、陸上自衛隊の小林弘樹陸上幕僚副長ら幹部が公用車で集団参拝したとしを本紙が特報（1月10日本紙）。小林氏らは防衛省から訓戒処分を受けています。憲法の政教分離の原則に違反する集団参拝が、隠匿などとされる自衛隊内で横行してくる疑いが浮上しました。（取材班）

事務次官通達に抵触

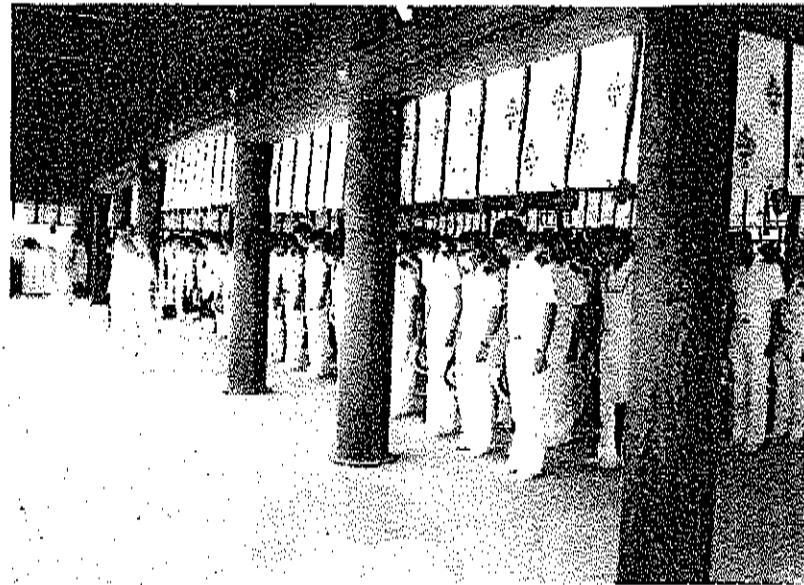
靖国神社の社報「靖國」の昨年7月号によると、同

年5月17日、靖国神社

令官・今野泰樹海将補はじめ、一般幹部候補生過程を修了した初級幹部ら165人が「船海に先立ち正式参拝した」としています。

社報に掲載された写真によると、幹部らが制服姿で昇殿参拝しており、公的な集団参拝だった疑いがあります。憲法20条は「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」と政教分離

されています。靖国神社は戦前戦中に、單國主義の精神的支柱として日本本国の侵略戦争を推進してきました。戦争責任を問われたA級戦犯14人や、戦没者を「英靈」として祀っています。今も境内の手前といひで侵略戦争を美化する説教が行われて



海自幹部ら165人違憲の靖国参拝

います。自衛隊による靖国神社の集団参拝が、田日本

軍への回帰を懸念させます。

陸自幹部の参拝を除くこと

で、防衛省は「全国的な実態調査は行わない」とし

ました。しかし海上自衛隊の

靖国参拝も事務次官通達（1974年）で「宗教上の礼拝

所に対する参拝に参加を強制す

ります。

また社報によると、海上自衛隊が「昭和32年以降

実施され、今回で6回目と

なる。出発前には靖国社へ

正式参拝に訪れてくる」と

しており、集団参拝が慣例

化してしまったことをうかがわ

せる記述があります。

靖国神社は戦前戦中に、單國主義の精神的支柱として日本本国の侵略戦争を推進してきました。戦争責任を問われたA級戦犯14人や、戦没者を「英靈」として祀っています。今も境内の手前といひで侵略戦争を美化する説教が行われて